

臨床検査⑤血液検査

血液検査で何が分かるの？

けつえきけんさでなにがわかるの？

けつえきせいぶん けっしょう よ えきたいせいぶん けつきゅう よ
血液成分は血漿と呼ばれる「液体成分」と血球と呼ばれる「細胞成分」に分けられます。血液の細胞成分は標本を作つて染色することで数や形などを顕微鏡で観察できるようになります。細胞の種類を分類することで病気の早期発見や診断におおやくだに役立ちます。



白血球

しんたい はい びょうげんたい いぶつ はいじょ はたら
身体に入ってきた病原体や異物を排除する働きがあります。顆粒球（好中球、好酸球、好塩基球）、単球、リンパ球の3つに分けられ、種類によって様々な機能を持っています。



さいきん いぶつ えんしょう
細菌や異物などにより炎症をおこしている場所に移動して異物を貪食、殺菌して身体を守ります。



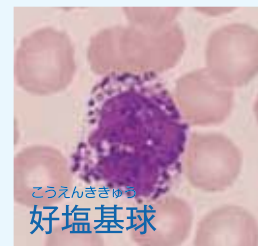
きゅう さいぼう さいぼう
リンパ球はT細胞、B細胞、NK細胞に分けられます。ウイルス感染などから身体を守ります。



きせいちゅう しんたい まち
寄生虫から身体を守ったり、アレルギー性鼻炎などアレルギー反応にも関与しています。



けつけき なか たんきゅう そしき
血液の中では単球、組織ではマクロファージと呼ばれており好中球より強い貪食、殺菌能をもっています。



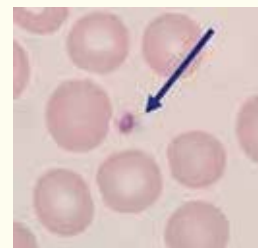
そくじがた かんよ
即時型アレルギーに関与しています。アナフィラキシー反応や蕁麻疹などを引き起こします。

赤血球



せつけつきゅう おも はたら さんそ
赤血球の主な働きは酸素の運搬です。肺で酸素を受け取った赤血球は全身に酸素を運搬します。

血小板



けっしょうばん おも はたら けつえき
血小板の主な働きは血液の出血を止める働きがあります。血液の細胞の中では一番小さい細胞です。